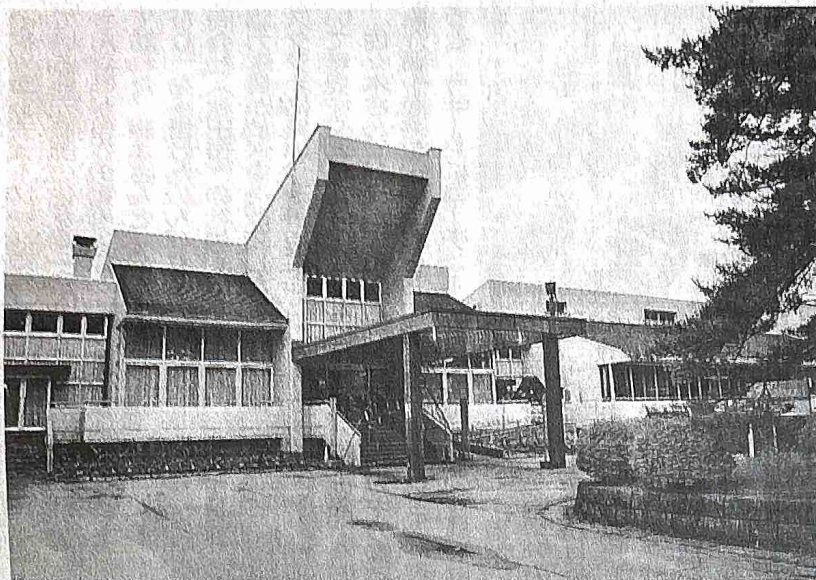


奥羽山荘^{大仙}営業再開へ

佐々木興業「魅力的な施設に」

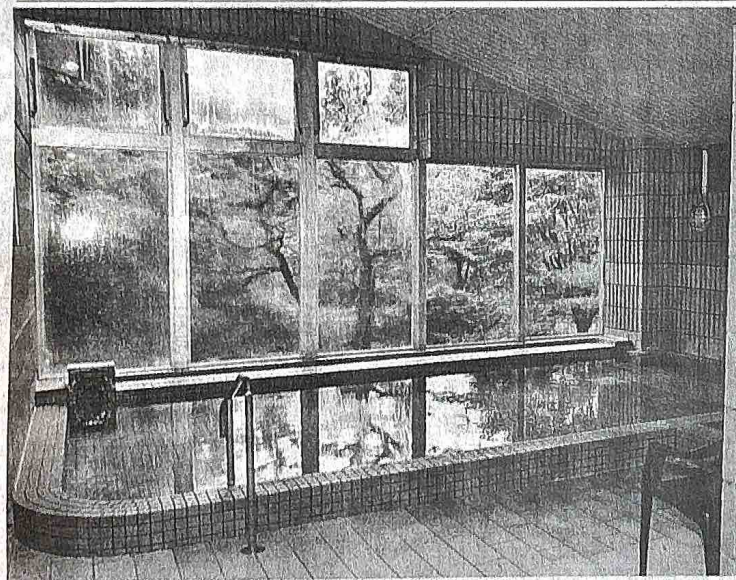
市、敷地など無償貸与

大仙市は7日、仙北市のわらび座が経営を断念した大仙市太田町の川口温泉「奥羽山荘」を同市宇刈和野の佐々木興業が譲り受け、近く営業を再開することを明らかにした。同日、市は2030年7月まで山荘の敷地などを無償貸与する契約を同社と結んだ。



近く営業が再開される見通しとなった奥羽山荘

山荘は、客室20室で収容人員80人。鉄筋コンクリート造り二部二階建て4640平方メートル。市は敷地1万1430平方メートル、温泉くみ上げ設備などを同社に無償で貸す。



改修された奥羽山荘の浴場

山荘は、客室20室で収容人員80人。鉄筋コンクリート造り二部二階建て4640平方メートル。市は敷地1万1430平方メートル、温泉くみ上げ設備などを同社に無償で貸す。

山荘は、客室20室で収容人員80人。鉄筋コンクリート造り二部二階建て4640平方メートル。市は敷地1万1430平方メートル、温泉くみ上げ設備などを同社に無償で貸す。

山荘を守りたいと思い、引き受けることを決めた。コメや日本酒の輸出などで培ったノウハウを基に、農産物の販売、山荘との連携、コンサート開催などにも取り組むたい。一層魅力的な施設にしていこうと話した。(高橋さつき)